

洪水からみなさまの暮らしを守る

VOL.6

あさがわけきとく 厚狭川激特だより

はじめに

厚狭川激特だよりは、「厚狭川河川激甚災害対策特別緊急事業」に関する取り組み状況などの情報をお知らせするために発行するものです。

今回は、「桜川のバイパス河川の概要」、「事業の進捗状況」についてお知らせします。

【整備の目標】 厚狭川および桜川において、河道の掘削及び拡幅、排水ポンプの増設等により、洪水を流下させる能力を向上させ、平成22年7月の豪雨規模の洪水による浸水被害を軽減します。

桜川のバイパス河川の概要

桜川では、「厚狭川激特だより vol.4」でもご説明したとおり、浸水被害を軽減するために、河川の断面を拡げることとしています。

しかしながら、JR山陽新幹線とJR山陽本線の横断部は構造上の制約があり、現況の桜川を拡幅することが困難なため、新たにバイパス河川を整備します。

右の上の写真は、工事着手前の現在の桜川を上空から撮影したものです。下の写真は、激特事業がすべて完了したときの完成予想図です。写真のように、新たなバイパス河川を整備することで、洪水が流れる断面を確保します。

バイパス河川は、JR山陽新幹線とJR山陽本線の下を横断し、特にJR山陽本線の下はトンネル構造となることから、横断部の工事については、JRにお願いすることとしています。現在、JRにおいて工事着手に向け、準備を進めています。

また、旧国道2号の桜川橋架替工事のための迂回路の工事に、今年の6月頃より着手できるよう、関係者の皆様と調整を進めているところです。

今年の秋からは、桜川橋、山川橋等、順次、橋の架替工事に着手する予定です。

工事期間中は通行制限などにより、地域の皆様にご迷惑をおかけすることとなりますが、地域を洪水から守るために一日も早い工事の完成に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。



< 現在の状況 >



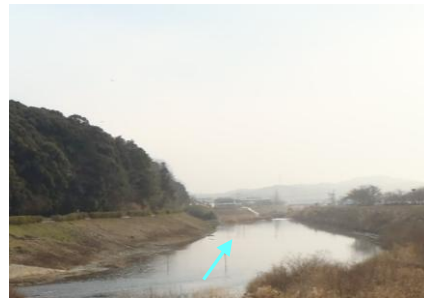
< 完成予想図 >

事業の進捗状況

新橋の上流には左側の写真のように土砂が堆積し、草木も茂り、洪水が流れる妨げとなっていました。右側の写真のように掘削工事により洪水が流れる断面を確保しました。(次の⑥の写真です。)

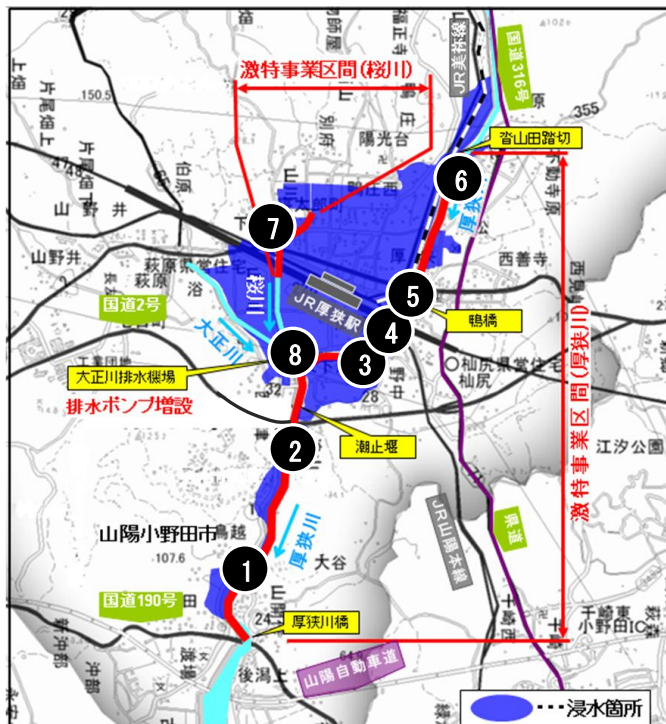


工事着手前



工事完了後

- ① 厚狭川下流部では、作業船による川底の掘削工事を進めています。
- ② 国道2号バイパス下流付近では、川底の掘削工事を進めています。
- ③ 東下津～殿町では、堤防の嵩上げ工事を進めています。
- ④ JR下流付近では、川底の掘削工事を進めています。
- ⑤ 鴨橋付近では、仮橋の工事を進めています。鴨橋の撤去は11月から着手の予定です。また、JRの上流付近では護岸工事を進めています。
- ⑥ 新橋の上流付近では、一部川底の掘削工事が完了したところで、今年の秋から掘削工事の続きを行う予定です。
- ⑦ 桜川では、桜川橋(旧国道2号の橋)の架替工事に先立ち、6月頃より迂回路の工事に着手できるよう、関係者の皆様と調整を進めています。また、山川橋付近では、地盤補強工事を進めています。
- ⑧ 大正川排水機場では、順調にポンプ増設工事を進めており、今年の梅雨時期までには完成の予定です。



※左記の番号と上図の箇所番号が対応しています。

～ 鴨橋のライトアップについて ～



事業を進めるにあたり、鴨橋に対する地域の皆様の思いが強いことを知り、今の形のまま年を越す最後の鴨橋を胸に焼きつけていただければという思いから、昨年末から年明けにかけて、長年地域の皆様に親しまれてきた鴨橋をライトアップさせていただきました。ライトアップするとは言ったものの、協力していただいた方々も含め照明のプロではないので、どのようになるのか一抹の不安もありましたが、暗闇のなかにぼんやり浮かび上がる鴨橋はとても幻想的で、地域の皆様にも「よかったよ」と言っていただき、ホッとしました。

厚狭川および周辺においては、工事に伴う騒音振動や交通規制及び工事用車両の通行等でご迷惑をおかけすると思っておりますが、細心の注意をはらって施工いたしますので、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

＜ お問い合わせはこちらまで ＞

山口県宇部土木建築事務所 〒755-0033 宇部市琴芝町 1-1-50
TEL 0836-21-7125 FAX 0836-22-5231

